

モロッコにおけるコールドチェーン改善に 群馬県の企業が寄与します

～株式会社 MARS Company、JICA 普及・実証事業を開始～

株式会社 MARS Company（群馬県高崎市）は、2016年度のJICA中小企業支援事業において、モロッコ国を対象とした「高度冷蔵保存技術導入による水産品の高付加価値化にむけた普及・実証事業」で応募・採択され、この度JICAとの間で業務委託契約を締結し正式に事業開始の運びとなりました。

モロッコでは農水産分野の就労人口が全体の約40%（地方部では約70%）を占めているにもかかわらず、GDP 構成比が15%（2013年）と低いため、同分野の生産性向上や振興が課題となっています。その要因の一つとして、同国でのコールドチェーン（生鮮食品などを生産・輸送・消費の過程の間で途切れることなく低温に保つ物流方式）が未発達である点が挙げられます。

既に同社では2014年度にモロッコを対象国とした「高度冷蔵保存技術導入による農水産品の高付加価値化に向けた案件化調査」に採択され調査を実施しており、その過程で冷凍と解凍に係るエネルギー（コスト）を抑えた同社の独自技術である高度冷蔵保存技術の優位性が示された結果、上述の課題解決に寄与する観点から、同国側からその普及等に対して強い関心や協力の意思が示されました。

このような経緯から実施される本事業では、食材を冷凍せずに従来冷蔵庫の3～10倍の鮮度保持を実現する同社の高度冷蔵装置「Kuraban」と、同じく鮮魚等の日持ちを大幅に向上させ輸送コスト低減に寄与する雪状の人工海水氷製造装置「sea snow」を、モロッコ国農業・海洋漁業省所管の国立海洋漁業研究所水産物技術開発センター内に設置し、実際に水揚げされる水産物に対する長期鮮度保存、鮮度評価、安全性評価等を科学的に実証し、普及の方策を検討する予定です。



「Kuraban」（プレハブタイプ）



「sea snow」と従来の氷による冷蔵鮮度比較

※「中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～」は、我が国の中小企業などの製品・技術が途上国の開発に有効であることを実証するとともに、現地での適合性を高め、普及を図ることを目的とするものです。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東京 市民参加協力第一課 稲澤 定
 TEL : 03-3485-7680 E-mail : Inasawa.Sadaka@jica.go.jp